

モル・キッス

カチオン系混和タイプ

F☆☆☆☆ 0307010 NSK

強力接着!耐水・防水性アップ

● モル・キッスを混入したポリマーセメントモルタルは下地へ強力に接着します。
また、硬化後はモルタルの耐衝撃性が向上します。

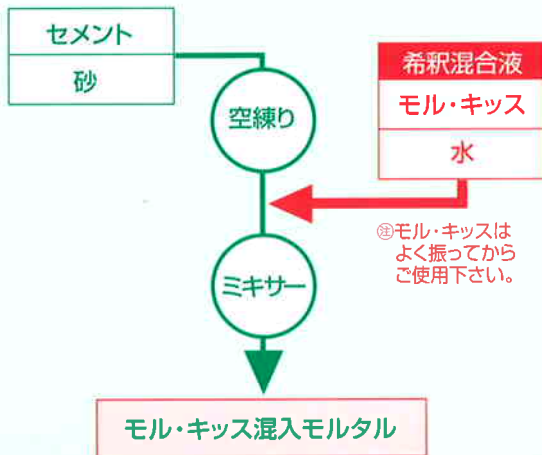
セメント混和用ゴムラテックス

モル・キッス

モル・キッス混入モルタルは様々な下地に強力に接着し、耐水性（防水性）がアップします。

使い方

モル・キッスは白い液体です。



特長

- 1.従来普通モルタルが接着出来ない下地に、強力接着します。
- 2.モルタルの隙間への充填作用による防水効果
モル・キッスは、水分を取り除くとゴムです。ゴム状の小さな粒子が、モルタルの無数の隙間を埋めて、防水効果を発揮します。
- 3.モルタルの耐衝撃性の向上
硬質体のモルタルは衝撃に弱く、すぐ亀裂が生じます。モル・キッスを混入すると、ゴム状粒子が隙間を充填する為に、衝撃を吸収し亀裂の発生を大巾に防ぎます。
- 4.普通モルタルと比較して、耐酸モルタルになります。
モルタルは酸に弱いです。モル・キッス混入モルタルは耐酸性モルタルに変わります。
セメントは酸に遭遇すると、表面が膨張してポロポロになります。モル・キッスを混入すると、耐酸性が向上します。
- 5.耐摩耗・防塵床モルタル
床モルタルの場合、普通モルタルの、数倍の耐摩耗力があります。同時にホーキではいてもほこりがたちません。

適用下地

タイルの表面	磨きモルタル	コンクリート	鉄骨・鉄板
コンパネ (プライマー必要)	石	スレート板	ALC

接着しない下地

アルミニウム・ステンレス下地、油・剥離剤の付着している下地には接着しません。
(塗料の種類によっては接着を害するものがあります。テスト塗りで確認して下さい。)



荷姿:ポリ容器(3kg)・缶(18kg)1C/S(3kg×6本入)
※3kg1本から販売いたします。

施工方法 (必ず次の順序で施工して下さい。)

- 1.古い下地の場合は、よく水洗いをする。油脂分が付着している時は、洗剤等で水洗いしてキレイに取除いて下さい。
- 2.吸水のある下地は、塗工前に必ず水湿して下さい。
- 3.普通モルタルの施工と同じ要領で、塗りつけて下さい。但し、1回に10mm以上の厚塗りは避けて下さい。
- 4.モル・キッス混入モルタルで仕上げの時は、塗工後、なるべく早く仕上げして下さい。
- 5.モル・キッス混入モルタルの上へ、更に普通モルタルを塗り継ぐ時は櫛目等で表面を荒らして置く。1週間、乾燥養生の後、普通モルタルを塗り継いで下さい。
但し、普通モルタルを塗り継ぐ時も、1回の塗工厚は、10mm以下でそれ以上は避けて下さい。
- 6.土間等で30~40mmと、厚塗を必要とする時は、更に1週間の乾燥養生期間を置き、塗り継いで行って下さい。一度の厚塗りは非常に危険です。

モル・キッス混入モルタルの施工方法

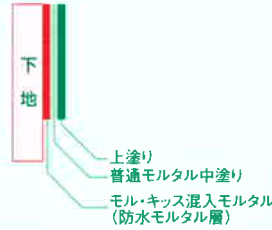
モル・キッス混入モルタルは、塗ってすぐ強力な接着力はありません。セメントの硬化が始まる迄は、性能的には普通モルタルと何ら変化ありません。しかし翌日よりモルタル硬化と共にモル・キッス本来の接着力が出来ます。

セメントは硬化する時、より長い時間保水が必要です。
下記の様な場合、セメントの硬化不良(ドライアウト)が生じます。そして表面にクラックを起す事があります。この様な場合は、日延べをするか、日覆養生をしてMCを混入して、保水性を持たせて下さい。

- ① 直射日光下の施工
- ② 下地の急激な水引(水打するか又はプライマーを施す)
- ③ 強風下での施工
- ④ 極薄塗りによる急激な水分の飛散

1. 防水に重点を置いたモルタル仕上

- 施工箇所**
- プール・人工池・水槽・屋上・ベランダ
 - 古タイルの埋殺し・防水下地



施工順序

- ① 下地の清掃。
- ② 下地を湿す。
- ③ モル・キッス混入モルタルを約5%厚に塗りつける。
- ④ 普通モルタルを塗る。
- ⑤ 更にもう一度上塗りする場合は、表面を荒らして置く。
- ⑥ 養生7日～10日で次のモルタルを塗る。

※このモルタルは古タイルの上にも塗工出来ます。7日～10日間養生して新しいタイルを張り替えて下さい。

2. 壁面のモルタル仕上

- 施工箇所**
- ツーバイ法工法(コンパネにノーラスでモルタル塗り)
 - 古モルタルの上へのモルタル打継



施工順序

- ① 下地の清掃。
- ② 下地を湿す。
- ③ モル・キッス混入モルタルを約5%厚に塗りつける。(ノロで追かけた場合はこれで仕上げる)
- ④ 普通モルタルを塗り付ける。
- ⑤ 更に上塗りする場合は、表面を荒らして置く。
- ⑥ 養生7日～10日以上で、次のモルタルを掛け仕上げる。

※古モルタルの強度を確認の上、塗り継いで下さい。特に古い配合モルタルの表面強度についてはご注意ください。

3. 床用厚付けモルタル仕上

- 施工箇所**
- 化学工場・食品工場の床及び排水溝
 - 厳寒・凍結・融解によってモルタル破土壌につながる場所
 - 耐摩耗・防塵を求められる床モルタル



施工順序

- ① 下地の清掃。
- ② 下地を湿す。
- ③ モル・キッス混入モルタルを約10%厚に塗りつける。
- ④ カラーモルタルを塗る場合は、この上に塗って仕上げる。

4. タイル張用モルタル

- 施工箇所**
- タイル張用モルタル



施工順序

- ① 下地の清掃。
- ② 下地を湿す。
- ③ モル・キッス混入モルタルを約3～5%厚に塗りつける。
- ④ 追っかけてタイルを張る。

5. 床用下地調整材(薄塗り)

- 施工箇所**
- 畳・Pタイル・クッションフロアー・ウレタン床材・カーペット等の下地造り



施工順序

- ① 下地の清掃。
- ② 下地を湿す。
- ③ モル・キッス混入モルタルを約2～3%厚に塗りつける。
- ④ 特に厚みを要する場合は、追っかけて普通モルタルを塗り仕上げる。

注意 モル・キッス混入モルタルは練った後、1時間以内に塗って下さい。

※セメントの硬化不良(ドライ・アウト)に注意しましょう。

注意事項

- 前項に示す、施工個所に見合った、モル・キスの量を、正確に混入して下さい。混入量が過少の場合、剥離・浮上り事故の原因となります。
- モル・キス混合モルタルの可使用時間は約1時間です。(20℃)それ以上練置き時間が経過した時の、練り戻しは絶対に避けて下さい。クラック・剥離の原因になります。
- 水性エマルジョンタイプなので冬期、凍結させると機能を失う事があります。保存には充分ご注意ください。また5℃以下での施工は避けて下さい。
- 最近モルタルポンプの使用が多くなり、圧送を容易にする為の水量過多による、異常収縮による剥離。特に土間モルタルの浮き上り事故の発生が多く見られます。混練り時の水量に、くれぐれもご注意ください。
- 器具・道具類は使用後直ちに水洗いして下さい。
- モル・キスはセメント混和液です。プライマーとしての使用は避けて下さい。

モル・キス性能試験結果表

性状

項目	性状
外 観	乳白色液体
主 成 分	特殊変性合成ゴム
固形分(%)	45%
P H	6~8
粒 子 径	0.1μ
粘度(B型25℃)	150mPa·s以下
比重(25℃)	約1.0
貯 蔵 安 定 性	1ヶ年以下 常温に保ち凍結はさけてください。

JIS-A-6203 物性(ポリマーセメント比 10%)

項目	モル・キス混入モルタル	品質基準
曲げ強度(N/mm ²)	8.4	8.0以上
圧縮強度(N/mm ²)	25.9	24.0以上
接着強度(N/mm ²)	1.3	1.0以上
吸 水 率 (%)	3.5	10以下
透 水 量 (g)	7	15以下
長 さ 変 化 率 (%)	0.092	0~0.15

耐薬品性テスト結果表(普通モルタルとの比較)

試験項目	試験基準		5%HCl (塩酸浸漬)		35% (食塩水浸漬)		5% (乳酸浸漬)	
	普通モルタル	モル・キス混入モルタル20%	普通モルタル	モル・キス混入モルタル20%	普通モルタル	モル・キス混入モルタル20%	普通モルタル	モル・キス混入モルタル20%
曲げ強度(N/mm ²)	4.7	9.2	2.9	6.6	3.7	8.7	4.6	8.5
圧縮強度(N/mm ²)	18.2	23.4	8.7	19.7	14.6	22.4	17.9	21.4

4×4×16cmモルタル 養生28日 セメント1:3 砂

耐摩耗性

試験項目	試験基準	普通モルタル	モル・キス混入モルタル20%
摩 耗 減 量		11g	2g



株式会社 竹屋化学研究所

〒577-0062 東大阪市森河内東1丁目25番12号
Tel.06-6781-1323(代) Fax.06-6782-7021
http://www.takeyakagaku.com



代理店